



かまスタ☆ファンズ	第18号
・インタビュー 加藤政義選手：課題をクリア、目指すは一軍 西俊児コーチ：総合コーチの仕事とは	
・監督の部屋／サードシーズン Vol.1	
・ファイターズ情報 3・4月度月間 MVP 他	
発行／ファイターズ鎌ヶ谷の会 広報部会 〒273-0118 千葉県鎌ヶ谷市中沢459 TEL. 047-446-5586	

インタビュー-1 加藤政義選手

打撃好調、課題をクリアして目指すは一軍!



加藤政義(かとう・まさよし) 内野手
 背番号39 宮城県出身 東北高一
 九州国際大ー10年北海道日本ハム
 173cm/76kg 右投/左打

東北高校から九州国際大を経てファイターズに入団し今年で3年目となる加藤選手。今季は開幕から出場試合13試合連続安打を記録するなど好調です。25回目の誕生日となる4月28日も2安打1打点と活躍しました。今回はそんな加藤選手にご自身の調子や課題を聞いてみました。

◆打撃の課題をクリアして好発進!

開幕の3月18日から4月4日まで14試合中13試合に出場し、それまで、すべての試合で安打を記録しました。すばらしいスタートだと思いませんか? 自分自身ではどのように感じていますか?

自分自身としては、そんなにすぐく調子が良いとは思ってないんですけど、逆方向にしっかりとヒットが打れているので、その辺はいろいろ取り組んだ結果、良い方向にいったるんじゃないかと思っています。

確かにセンターから左方向への当たりが多いですね。昨年と比べて意識していることや変えたところはありますか?

タイミングの取り方を変えたりしました。どうしても引張るタイプなので、ひっかけたり、左ピッチャーには、なおさら体が開いてひっかけたアウトだったという課題があったので、逆方向への安打を増やそうと。ですから逆方向にヒットが出始めると打率も上がるし、ヒットの幅も広がると考えて取り組んでいます。

◆ひとつひとつ役割を果たす

打順も今季は三番での出場が増えています。打点も挙げています。それでいて一番、二番では犠打も決めていきますね。

ファームとしての立場としては三番打者もありますが、長打はあまり求められていないと思うので、塁に出る確率を上げるということです。そういう意味ではまた早く3割に戻したいですね。打順は気にせずに、しっかりと一打席一打席の役割を果たそうというか、監督もそういうところを見てくれていると思いますので。

◆信頼される守備が課題

守備についてお聞きします。今季はサードでの出場が多いようですが、もちろんセカンドもショートもこなしていますか? どこが一番というのがありますか?

いろいろなポジションをやった方が野球の見方も変わるので、どこでもできるようにがんばっています。だけど今年は何となくです。(笑) 結構エラーもしています。守れないと二軍に行ってもスタメンで使ってもらえないので、今は守備を課題として取り組んでいます。その辺では物足りないというか、もっと信頼されるようにならないといけない。

◆目標はあくまでも一軍で!

ルーキーイヤーは開幕一軍でしたが、終盤には手術をされました。2年目となる昨年は、一軍で21試合出場し10安打しています。今季の数字的な目標があれば教えてください。

そうですね、シーズンに入る前は「100試合くらい(一軍で)出場して結果を残す」と考えていたんです。(笑) でもまだ100試合以上残っている(4月29日時点)ので、とりあえず一軍が上がって活躍できるように、今の時期にしっかりと準備して課題をクリアしていくことが大事だと思います。

インタビュー-2 西ファーム総合コーチ



西俊児(にし・しゅんじ) ファーム総合コーチ
 背番号79 和歌山県出身 本田技研一ダイ
 エー96年日本ハム・北海道日本ハム一
 北楽天(コーチ)ー12年北海道日本ハム

西コーチは96年から00年までファイターズで選手として活躍し、その後は一軍、二軍の双方で内野守備走塁コーチとしてチームを支えました。06年からはゴールデングラブスでもコーチ、スタッフとしてのキャリアを積み、今季ファイターズにファーム総合コーチとして戻ってきました。そこで、聞きなれない「総合コーチ」という仕事についてご本人に直接聞いてみました。

西コーチの肩書「ファーム総合コーチ」というものが、どういうものなのか教えてください。

今までどおりに監督、コーチ、選手がいる中で、選手がやるべきことや目的、課題に対して話をするときの進行役ですね。パッと見て「あの選手がこういう課題を持ってやっていますね」というような話し合いをうまくコーチ会議で進めていく役目をしていきます。

以前にやられていた内野守備走塁コーチがメインとか兼任ということではなく、

全体を見ることが大切です。

全体を見ます。もちろん投手なんかも見ます。ファイターズのコーチと選手は、課題に対してどういうアプローチをしているかというのを今までも、ずっとやってきています。それを全体でコーチも選手も共有するということです。例えばバッティングに関して言えば、投手コーチもこの打者がバッティングに対して何をしているのか、ということをお話していただければいいわけです。パッと打者から声をかけられても投手コーチが「今、あれをやっているでしょ」と言ったら、それをやるんではないかと。もちろん余計なことはいりませんよ。それぞれコーチがいますから、だけどそういうことで選手が困らないようにする。コーチ会議でもそうやって進みます。

コーチ会議ではコーチ陣の取りまとめ役というか、つなぎ役という感じでしょうか?

つなぎ役にはなっていません。(笑) まだまだですけど、まあそういうふうにしていきたいということです。

現役、コーチを通して3球団を渡り歩き、それぞれの違いもあったと思うのですが、そこから得られたものはありましたか?

僕の場合は恵まれていました。その時々で指導いただいた監督やコーチなど、ダイエーでは王さんに根本さん、田淵さん、ファイターズでは上田監督、ヒルマン監督、楽天で野村監督も。でも今でも会えばお話できます。ただ、僕の場合はファームも長かったのでも二軍監督にもお世話になつていて、時期が長かった。ファイターズだったから白井さんとか。そういう方たちのおかげで、ここまでこれているんです。だから今の選手たちにも、そういう方たちから教わって味わった良い経験を伝えたいですね。

【ハミダシ】 西コーチの取材をするスタッフの隣に座り「連敗はコーチのせいだよ」と囁く駒居用具担当。西コーチに聞こえる大きさではなかったのですが「連敗は俺が(ファイターズに)来たからじゃないよ!」とひと言。さすがに何でもお見通し!

監督の部屋 vol.1

シーズン

題字：五十嵐信一ファーム監督



毎回、五十嵐監督に熱く語っていただくこのコーナーも3年目に入りました。4月に入って8連勝したファイターズがその後7連敗。今年もファン目線で監督に迫ります！

さて、4月は連勝のあとに連敗が続きました。チームの状態はいかがですか？

負けてるといことは悪いんだろ(笑)でもそれほど悪くないよ。ただ今の戦力ではロツテと楽天は厳しい。あとは勝ちきれない試合も何試合か。交流戦くらいになると一軍との入れ替えも増えてくるんだけど、今はブルペンが厳しいかな。

— 昨年は前半、投手がかなり揃っていた印象でしたが今年は厳しいと？

先発は良いですね。ブルペンもないから、ある程度回転させないといけないんで。でも一方的にやられている試合はないですよ。いつも競った試合をやっているんで、そういう点では課題も出るし、育成には持って来いの戦いができてますね。

— 打者の方はどうでしょうか？
今は西川が良いね。あと松本も疲れはあるだろうけど練習もがんばっているし。そういう意味ではみんながんばっている。今は結果より過程が大事な時期なんで。

— 昨年は「チーム内での競争」と言われていました。今年はどうでしょうか？

— 今年「育成」ですね。1、2年生が6人くらいいてそこが中心になるんで。

— そのルーキーたちはどうでしょうか？

— 面白い選手が…、面白いって言うじゃないけど、期待できる選手がいっぱいいます。今成がトレードでいなくなったので、捕手は近藤を中心に使います。

— 今季は走塁面で積極的な盗塁が目立ちますが、盗塁はベンチのサインですか？

— 去年はポイントでサインを出して走らせてたんですけど、今年も最初からある程度自分で走る状況で走れという出し方をします。

— 監督ご自身がファーム監督になられて3年目となりますが、今年の意気込みをお聞かせください。

— 8連勝した時は、「おおっ」となっ

たけどこの6連敗(5月3日現在で「あつ」て…)。(笑)まあ、今年1年かけて1年生のルーキーたちが力をつけ、成長をしてくれば良いかなという感じですよ。2年目の西川は、去年は全然守ってなかったの期待と不安が半々だったのですが、それを払拭して、もう一軍が見えてきている感じが楽しみです。あと谷口は順調に成長していますよ。オープン戦で上に行ってアピールできていたし、あとはさらに実力をつけられね。

— それでは最後にファンに向けてひと言をお願いします。

— ファンの皆様は(勝つことを期待して(球場へ来てくれて)と思うのですが、今季は勝ち負けを繰り返しながら、選手が育っていています。どうか一緒に選手の成長を見ながら一喜一憂していただければと思います。どうぞ応援をよろしく願っています。



ハイタッチでファンを迎える五十嵐監督



開幕戦で花束を受け取る五十嵐監督 (右はマリーンズ青山監督)



3・4月度 月間MVP表彰

ファイターズ鎌ヶ谷の会選出による3・4月度月間MVPの表彰式が、5月13日フューチャーズ戦の試合開始前に行われ、MVPとなった土屋投手と西川選手が、当日来場したファンの中から選ばれたプレゼンターより賞金を手渡されました。

- ★土屋投手
登板4試合 3勝1敗 投球回21 自責点1 防御率0.43
- ★西川選手
出場13試合 48打数17安打4打点 1本塁打 8盗塁 打率.354

なお5月度月間MVPの表彰式は6月16日(土)に行われる予定です。どの選手が選ばれるか楽しみです。



大村コーチ、試合前のひと仕事



試合前に用具担当の駒居さんがボールを揉んでいると、なんと大村コーチが手伝いに来ました。そこでサーブスシヨットをパチリ。駒居さんも照れ笑いです。駒居さんにお聞きしたところ、試合前には5ダース(60個)以上のボールを、専用の揉み砂で丁寧に揉んで、用意するそうです。

●発行/ファイターズ鎌ヶ谷の会 広報部会

●編集/中村俊也 廣瀬良範 金井 信也 木下智恵 坂本恵理

○事務局

〒273-0118
千葉県鎌ヶ谷市中沢459
(株)北海道日本ハムファイターズ
ファイターズスタジアム内
ファイターズ鎌ヶ谷の会

☎047446)5586

※本紙の記事、写真データ等の無断転載を禁止します。

【ハミダシ】

五十嵐監督が取材の際に「1、2年生」と若い選手を表現していましたが、そう言っている監督の表情は本当に子供の成長を願う父親の顔でした。毎回、すべてを紙面には載せられないのですが、選手のことを話すときは、いつもステキな笑顔です！